



シャワー方式対応の複合サイクル腐食試験(CCT) — 新JASO対応 —

シャワー方式の複合サイクル腐食試験に対応いたします。
オーバーヘッド方式よりFord規格にも対応できます。

JASO M609-24 B法、C法 のシャワー方式に対応

- 長らくCCT試験の主流であったJASO M609-91が2024年に廃止され、従来の塩水噴霧方式より液滴が大きな塩水シャワー方式が新たに規定されました。当社では改訂されたJASO M609-24 (新JASO)のシャワー方式にも対応しております。試験片作製から、シャワー方式でのCCT試験実施、その後の腐食解析まで幅広く承っております。

オーバーヘッド方式の採用により、Ford社の規格にも対応

- シャワー方式にも複数あり、塩水噴霧方式のように下から上に吹き上げるタイプ(ボトムシャワー)と、槽内上部から吹きかけるタイプ(オーバーヘッドシャワー)とがあり、Ford CETP 00.00-L-467ではオーバーヘッドシャワーが要求されています。当社試験機は揺動型のオーバーヘッドシャワー方式を採用し、Ford社の規格にも対応しております。

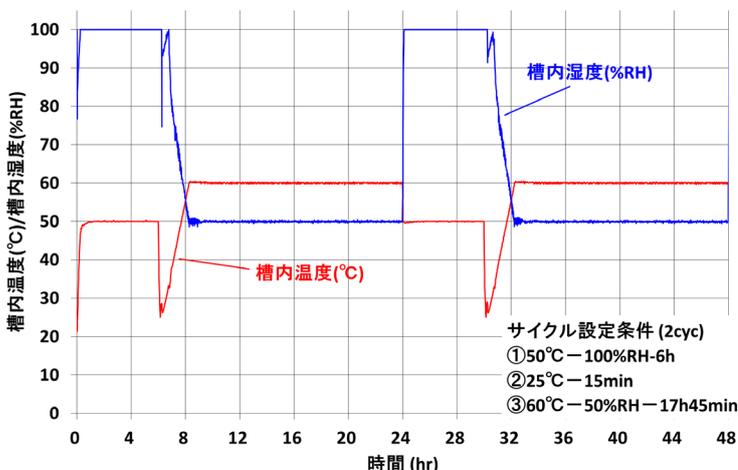
対応規格

- Ford CETP 00.00-L-467、GW 14872、GM 9540P、SAE J 2334、JASO M 609-24 B法/C法 など

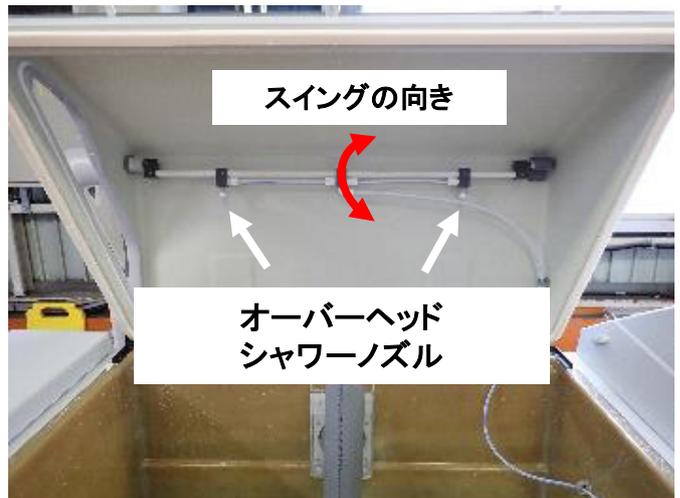
シャワー方式対応CCT試験機

- 仕様

項目	仕様
装置名称	Q-FOG CRH-600-HTCR (Q-Lab社製)
試験槽内寸法	W 1090 mm × D 660 mm × H 460 mm
シャワー方式	オーバーヘッド方式 (スイング可能)
温度範囲	噴霧 20~60℃ 乾燥 20~70℃ 湿潤 20~60℃ シャワー 20~50℃
耐荷重	113 kg



SAE J 2334 温湿度チャート (2サイクル)



(上)試験機外観
(下)オーバーヘッドシャワー部

